

水稲生育診断のための ドローンによるセンシングを行っています。

支援センターでは、これまで水稲の生育診断に関しては、「草丈」、「茎数」、葉の色である「SPAD 値」の調査を実施してきました。

これに加え、新たな技術の一つとして、ドローンによる上空からの撮影と、そのデータ分析による生育診断について、JA 佐久浅間、相馬商事株式会社と協働して取り組んでいます。

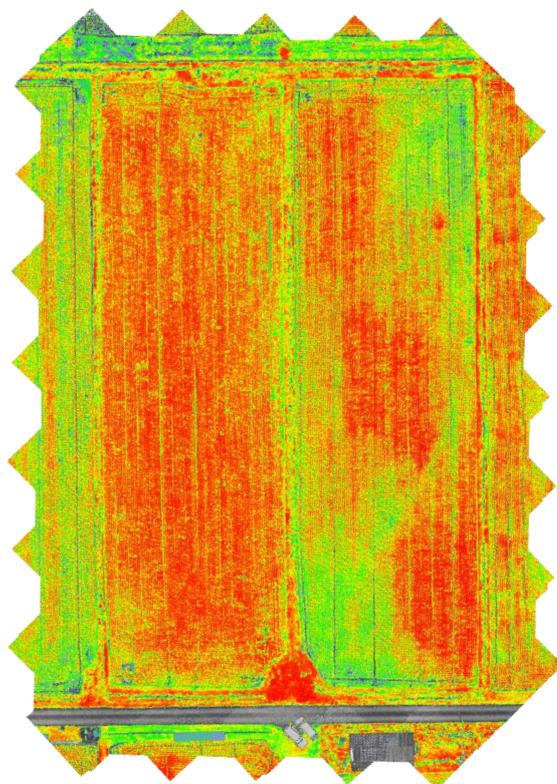
カメラのついたドローンで上空約 60m から水田を撮影し、撮影した結果は、特定の波長のみを取り出すことで色による生育診断に活用することができます。

現在は管内 10 ほ場で各生育ステージごとにデータ収集を行っています。

今後は、これまでの地上での調査との関係などを調べ、適正施肥、食味向上等への活用方法を検討していきます。



(写真1) ドローンで撮影したデータをそのまま見たもの。



(写真2) ドローンで撮影したデータから特定の波長を活用して表したもの。色が赤に近い方が生育が旺盛。